

## 申請者名

特定非営利活動法人グローイングピープルズウィル

## 体制図

主団体	特定非営利活動法人グローイングピープルズウィル	広報、会場・講師の確保、講習会の準備、企画・運営
協力団体	杉並区保健福祉部障害者施策課	広報・会場確保
	特定非営利活動法人スラッシュ	講師の確保
	株式会社アステム	講習会の企画補助

## 講習会等の実施計画

視覚障害者対象（定員5名）1講座当たり支援員4名（視覚障害者2名（全盲・弱視）歩行訓練士、ジョブコーチ）アシスタント5名

相談会：初回2時間を1回、最後回2時間を1回実施 2時間×2コマ×2回＝8コマ

基礎講座：2時間を3回実施 2時間×2コマ×3回＝12コマ／応用講座：3時間を1回実施 3時間×2コマ×1回＝6コマ

**合計26コマ**

\* 個別補習を支援員1名（視覚障害者）、アシスタント1名が、1名の対象者に対して1時間を3回実施

1時間×3回×5人＝15時間（コマ数外、自己資金で実施）

## 基本講座

	電源の入れ方等	電話のかけ方等	アプリ等	ネットの使い方等	メール等の使い方	地図アプリの使い方	SNSの使い方	オンライン会議	安心・安全
実施コマ数	1	1	2	2	2		2	1	1

## 応用講座

	マイナンバーカード	マイナポータル	マイナポイント	e-Tax	オンライン診療	地域オンライン行政
実施コマ数	3		3			

支援員数	アシスタント数	基本講座：実施コマ総数	応用講座：実施コマ総数	相談会：実施コマ総数
4（5）	5	12	6	8

## 講師を確保・養成・管理

## 【講師の確保】

- ・ 視覚障害当事者
- ・ 歩行訓練士
- ・ 視覚障害者のジョブコーチ

申請団体または協力団体から視覚障害当事者や障害特性をよく理解している支援者から確保

## 【講師の養成】

- ・ 視覚障害の特性を考慮したデジタル活用を意識
- ・ 講習会参加者がより深くデジタル活用を理解できる支援の方法を身に着ける研修や勉強会の実施

## 【講師の管理】

- ・ メールなどで密に連絡を取り状況把握
- ・ 情報共有の記録を残すなど、全員が同じ最新情報を共有できるように工夫

## 講習会等の実施イメージ

